



キアゲハ



ハマボウ



クマゼミ



ジャコウアゲハ



オモダカ



三重県地球温暖化防止活動推進センターに指定！

平成22年4月1日より、財団法人三重県環境保全事業団が、三重県知事から、地球温暖化対策の推進に関する法律第24条に基づき、三重県地球温暖化防止活動推進センターとして指定されました。これにより、平成25年3月31日までの3年間、三重県および三重県地球温暖化防止活動推進員の皆様と協働連携し、地球温暖化防止に向けた啓発活動等に取り組んでいくこととなりました。政府では、地球と日本の環境を守り未来の子どもたちに引き継いでいくため、「チャレンジ25」と名付け、あらゆる政策を総動員して地球温暖化防止の対策を推進することとしており、温暖化防止のための国民的運動を、「チャレンジ25キャンペーン」として平成22年1月14日より、展開しています。地球温暖化を止めるには、企業や個人の「チャレンジ」が必要です。



「地球温暖化防止対策啓発活動」出発式にて

あなたの「チャレンジ」が社会をつくれます。地球温暖化防止のために、ぜひ「チャレンジャー」になってください!! センターはあなたの「チャレンジ」を応援します。



朴センター長

5月16日には、多気町にある香肌奥伊勢資源化プラザにておこなわれたリサイクルフェアへ、センター指定後、初めて出展致しました。当日は2,000人が来場され、リユース品のくじ引きなどもおこなわれ、たいへん賑わいました。

また6月1日には鈴鹿市にておこなわれた平成22年度「地球温暖化防止対策啓発活動」出発式に鈴鹿市の三重県地球温暖化防止活動推進員と共にセンター職員が参加しました。出発式では、川岸鈴鹿市長や朴センター長の挨拶、さらに啓発活動参加者を代表した三重県地球温暖化防止活動推進員の平澤さんの挨拶の後、鈴鹿市内のショッピングセンター3店での啓発活動がおこなわれました。

6月26日には今年度、第1回目となる三重県地球温暖化防止活動推進員研修会がおこなわれ新エネルギーについての講座や今年度のセンターとしての取り組みについて話し合われました。



廃棄物処理センターにおける消防訓練

廃棄物処理センターでは、安全・安心な施設運営を第一としており、毎年3回程度、四日市消防署のご指導をいただきながら消防訓練を実施しています。

平成22年度の第1回目の消防訓練は去る6月4日に、事業団職員・運転管理を委託している株式会社社員等42名が参加して、1隊4名編成で全員が屋外消火栓を使用した訓練を行いました。

参加者のうち放水担当者はバルブ半開にもかかわらず、放水圧力の強さに驚くなど緊張した雰囲気



気で放水訓練に参加しました。また、訓練の最後に四日市南消防署指導員によるバルブ全開放水に加え、筒先の操作によって、延焼を防ぐための冷却放水や、排煙対策としての噴霧放水を体験することにより、屋外消火栓の取扱についてより深く学ぶことが出来ました。

火災等災害の未然防止の徹底を図ることが最も重要なことですが、今後も火災発生を想定した訓練を繰返し、「万が一」あってはならない場合において、その被害軽減に努めてまいります。

お問い合わせ先 廃棄物管理部 溶融施設課（廃棄物処理センター） tel 059-328-8650 fax 059-328-8652



絶縁油中の微量 PCB の確認はお済みですか？

三重県では、平成22年4月1日より、県内の事業所等で保管又は使用されているコンデンサ・トランス等の電気機器が、微量のPCBに汚染されているかどうかを確認するための分析を、事業者の皆様が行うにあたり、その費用の一部を補助する制度が設けられています。なお、絶縁油中のPCBにつきましては、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（平成13年6月22日法律第65号）」に基づき、処理基準である0.5ppm (mg/kg) 以下である確認を行った後、平成28年までに事業者自らが適正に処理する必要があります。

当事業団では、「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル」による絶縁油中のPCB分析法（定量下限値：0.1mg/kg）を既に確立し、

信頼性の高い分析サービスをご提供致しております。この機会に検査を受けられることをお勧めします。PCB分析等の詳細につきましては、当事業団ホームページをご覧ください。



高分解能GC/MS装置（簡易測定法マニュアル対応）

お問い合わせ先 調査部 環境分析課 フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516
ホームページ <http://www.mec.or.jp/>



生物多様性保全に向けた活動のご案内！

「三重の豊かな自然を未来に伝える」を基本コンセプトとして、昨年度から始めました生物多様性の保全に向け、次の活動を今年度も行っていきます。

- ① 生物多様性保全の必要性を知っていただく活動
- ② 生物多様性保全を支える人材を育てる活動
- ③ 県内の自然環境に関する文献などの情報を収集・整理し、提供するための活動
- ④ 他機関が行う生物多様性保全活動と協働して行う活動

これらの活動の一環として、次のとおり親子動植物同定会及び標本作りの実習を行いますので、ご参加をお待ち申し上げます。

お問い合わせ先 調査部 環境調査課 フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7509 fax 059-245-7519

「ぼくら生き物調査隊 採って、調べて、形にしよう」

日 時：平成22年8月29日（日）13時から
場 所：MAPみえこどもの城（松阪市立野町）
講師（予定）：山路武夫さん（植物）
河北 均さん（昆虫）
中野 環さん（貝類）

内 容：採集した植物、昆虫、貝類などをお持ちいただき、種名調べ、標本作製をしていただきます。講師陣が、懇切丁寧にサポートしますので、初心者にもできます。

参加の申し込みは下記までお願いします。



第17回情報交換会開催のご案内

国際規格審査登録センター（ISC）では、企業の皆様方のISOへの取り組み事例や、マネジメントシステム認証制度に関する種々の課題をご紹介します情報交換会を行っています。

今回は、佐藤醸造株式会社様から「品質管理への取り組み」、また、ISCから「内部監査の有効活用について」と「微量PCBの取り扱いについて」のテーマで開催させていただきます。

ISO認証登録事業者様をはじめ、これからISOの取り組みをご検討されています事業者様のご参加をお待ち申し上げます。

開催の概要は次のとおりですが、詳細はISCホームページをご参照下さい。

日 時：平成22年8月23日（月）
13時15分～17時

場 所：くわなメディアライブ
1階多目的ホール
三重県桑名市中央町三丁目79番地

参加料：無料

お問い合わせ先 国際規格審査登録センター（ISC） tel 059-245-7514 fax 059-245-7524
ISC ホームページ <http://www.mec.or.jp/iso/isc/>



平成22年5月31日（月）夕刻、毎年事業団が社会貢献活動の一環として行っているごみゼロ（5.30）運動（事業団周辺地域のごみ収集）を実施しました。仕事を終えてから多数の職員（35名）が有志で参加し、河芸社屋付近の本城山公園から田中川沿いの周辺道路までごみ拾いをしました。道路周辺の各所には想像以上に空き缶、ペットボトルや買い物袋に詰め込んだごみなどがあり、みんな丹念に拾い集めながらごみ問題の深刻さを痛感しました。今後も事業団としては、清掃活動を通じて、地域の皆様と密着した環境保全活動を続けてまいります。





ネムノキ
平成21年7月
亀山市坂本で撮影
(夕刻で葉が閉じている)

「万葉集の植物」より

葛山博次著

「ねぶ」はねぶのきの略で、ネムリバナ・アサネゴロなどの名もあります。
ネムノキは、各地の山野に自生する落葉高木で、七月ごろから、淡い紅色の花が咲いていきます。これは、おしべがたくさんあって花糸が紅色に染まり、たいへん美しい姿をみせてくれるからです。花びらは小さく緑色です。夕方、葉の閉じる頃に花が咲き、朝方に陽光を受けて葉の開く前に花は衰えます。

「昼間は花開き、夜は葉を閉じ、慕い合って共寝する、ねむの花ですよ。主人の私だけが見てよいものか。そなたもぜひご覧下さい。」と紀女郎は、ネムの花に託して恋の申し入れを詠んだこの歌を大伴家持に送っています。(恋は実らなかったようです)

紀女郎(巻八の一四六)

君のみ見めや 戯奴さへに見よ
画は咲き 夜は恋ひ寝る 合歡木の花

万葉人の
愛した草木

その二十一



平成22年度 ISO 研修参加者募集!!

ISO14001/ISO9001 内部監査員養成セミナー〈2日間コース〉

対象 新しい内部監査員の養成、ISOコンサルタントを目指す方 等

内容 規格要求事項の解説、内部監査の説明、内部監査の場面を想定したケーススタディ

開催月日

ISO14001 内部監査員養成セミナー

平成22年8月26日(木)・27日(金)	平成22年10月21日(木)・22日(金)
平成22年11月25日(木)・26日(金)	平成23年1月20日(木)・21日(金)
平成23年2月24日(木)・25日(金)	

ISO9001 内部監査員養成セミナー

平成22年9月16日(木)・17日(金)	平成22年12月16日(木)・17日(金)
平成23年3月10日(木)・11日(金)	

開催場所 財団法人 三重県環境保全事業団
河芸社屋2階大会議室

定員 30名

講習時間 9:00～17:00

参加費 42,000円/1名
(昼食付き、消費税含む)

お問い合わせ先 調査部環境調査課 ISO研修担当 tel 059-245-7503 fax 059-245-7519

■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

■廃棄物処理センター(溶融処理事業)

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
tel 059-328-8650 (代表) fax 059-328-8652

■三田最終処分場(埋立処分事業)

〒510-0841 四日市市三田町9番地の地先
tel 059-349-5016 (代表) fax 059-346-6500



●事業団へのご意見・ご要望または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。e-mail: mec@mec.or.jp